

附属幼稚園 保護者の皆様

10月17日（土）、宮部先生の告別式に参列させていただきました。

長い間、幼児教育の現場で多くの子ども達や私たち保護者と関わってくださった宮部先生。おらかなお人柄の中に、ぶれない厳しさと溢れんばかりの愛情を感じさせてくださったように思います。

幼稚園に設けられた記帳所には、幅広い年代の方々が足を運ばれました。宮部先生とのお別れを惜しまれる様子を見せていただき、最後のお別れの間へ私が行かせていただく事が恐縮ではありましたが、皆様の思いを届けさせていただきました。子ども達を書いた手紙や折り紙は、ご親族の皆様が棺へと大切に納めてくださいました。

宮部先生のみえない幼稚園に慣れるには時間がかかると思いますが、幼稚園には今日も変わらない子ども達の笑顔があります。

宮部先生のご冥福をお祈りし、告別式への参列をご報告させていただきます。

PTA会長 信田 恵子

宮部教諭の永眠に伴い園内に記帳台を用意いたしましたところ、園児の皆さんや保護者の皆様、卒園児の皆さんや保護者の皆様には多数ご記帳をいただきました。また、多くのお花や、お手紙もいただきました。本当にありがとうございました。

お手紙は、祭壇に飾っていただき、出棺の前にはお棺に納めていただけました。芳名帳や記帳所の様子を写した写真も式場に飾っていただけました。

16日（金）の幼稚園周辺でのお見送りも本当にありがとうございました。直前の連絡にもかかわらず、本当に多くの皆様にご参加していただき、感謝しております。通夜の際の喪主挨拶で、ご長男様は「母は式場に向かう前、最後の出勤をしました。多くの方にお見送りいただき、多くの方々に愛されていたと感じました。本当にありがとうございました。」（要約）とお礼を言われました。

記帳台は、閉じさせていただきましたが、皆様がお供えくださいましたお花やお写真は、今しばらく園内の遊戯室前に飾らせていただきます。

皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

また、職員一同、宮部教諭の教えを胸に、子ども達の笑顔のために尽力いたしますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

園長 宮川 誠

「屈託のない笑顔は家族の胸にいまも」

紙やかまらで笑うように眠る母の横顔を眺めながら、家族一同まだ別れの実感がわきません。母は、風邪をこじらせた、少々体調が悪かろうが、何となく様子であつちしかんじている元気な姿を見せるようになってきた。このように突然の日は訪れ、本人以上に驚いておりました。母、宮部 陽子 は、家族の胸にまたまた面影を残して、令和二年十月十四日、満七十二歳にて永眠されました。その生涯は、幼少・後援の教育に尽力した日々でした。高校卒業後、幼児教育の道へ進んだ母は、およそ五十年にわたりその道場へ歩みまいりました。小さな子達の成長のお手伝いができ、それが何より喜びだとおっしゃっていました。母の笑顔が印象に残っております。

「一生の仕事に誇りを持ち、また家族を幸せに導いてくれた。大きな存在だった母に、いくらかの涙を流すことは難しいでしょう。しかし母の笑顔は、今も私たちに、家族は手をとりあふていこうと申します。これこそ母を愛したあなたに、家族へ、たいへん感謝を申し上げます。本日のご会葬にあたり、誠にありがとうございます。略儀ながら書状をもちまして、挨拶申し上げます。

ご葬式 令和二年十月十六日  
 送別式 令和二年十月十七日

喪主 宮部 重孝  
 親戚一同

水引は白と黒の二色に白紙の行儀の装束を、しるし御座下しませ。  
 メモリアルは、御家



